

オーディオテクニカグループの責任ある鉱物調達への対応方針

紛争鉱物(コンフリクトミネラル)とは、紛争地域及び政情不安、社会基盤の崩壊、暴力が広範におよんでいる高リスク地域を原産地とする資源のことです。従来の紛争鉱物調査では米国ドッド・フランク法に基づき、コンゴ民主共和国および周辺 9 か国を対象として、武装勢力の武器調達や活動のための資金源になる可能性があるスズ(Sn)、タンタル(Ta)、タングステン(W)、金(Au)の 4 種類の鉱物について使用状況の開示が義務付けられてきました。

責任ある鉱物調達では、CSR の観点から人権侵害に加担する鉱物を使用しないこととし、対象範囲に経済協力開発機構 (OECD) 紛争地域および高リスク地域 (CAHRAs) が拡張されました。

オーディオテクニカグループでは、この責任ある鉱物調達を企業の社会的責任の一環と捉え、お取引先との連携、協力のもと、『紛争や人権侵害に加担するリスクのある鉱物 (高リスク鉱物) を使用しないこと』を方針に掲げ、推進するとともに『高リスク鉱物の使用状況調査』を実施してまいります。具体的にはサプライヤーに対し、Responsible Minerals Initiative (RMI) により確立された精錬所監査プロセス Responsible Minerals Assurance Process (RMAP) の実施を継続して要請いたします。製品の構成部品や原材料に高リスク鉱物の使用が判明した場合には、適切に対処してまいります。

株式会社オーディオテクニカ

東京都町田市西成瀬 2-46-1

2025/11/4

生産本部ゼネラルマネージャー

鵜沢 茂

